

## 英語の辞書

外語大に入学される皆さんにとって、英語は得意科目だったかもしれない。でも、高校段階までの英語は、やはり「子供の英語」。それを「大人の英語」に高めるために、本学ではさまざまなプログラムを提供しているが、どんな場合でも辞書は必携のツールだ。

### ■英和辞典

- ・『[リーダーズ英和辞典](#)』（研究社）

収録語数が多く、語学の授業でも専門書を読む時でも、とにかく知らない単語があったら最初に引くべき辞書。「辞（コトバ）典」というより「事（コト）典」の性格が強い。

- ・『オーレックス英和辞典』（旺文社）

英語の運用能力を高めるための新しい工夫が施されている。上級学習英和辞典としては、他に『[ジーニアス英和辞典](#)』（大修館）、『[ウイズダム英和辞典](#)』（三省堂）なども定評がある。いずれも「大学受験用」と謳っているが、使いこなすのは大学生でないと無理。

### ■英英辞典

- ・ [Longman Dictionary of Contemporary English](#) (Longman)

定義が一定範囲の語彙で与えられているので、英英辞典に親しむには最適。

- ・ [Oxford Advanced Learner's Dictionary](#) (Oxford University Press)

オクスフォード大学出版局が出している、信頼できる学習英英辞典。

### ■和英辞典

- ・『オーレックス和英辞典』（旺文社）

日本語から出発して「正しい英語」さらに「自然な英語」に至るまで伴走してくれる新しい上級学習和英辞典。

- ・『[研究社新和英大辞典](#)』（研究社）

見出し語数が多く、例文も豊富な大辞典。

### ■そのほか

- ・『[新編英和活用大辞典](#)』（研究社）、[Oxford Collocations](#) (Oxford University Press)

コロケーション（語と語の慣用的な結び付き）を知るための辞書。これらを駆使すると、立体的な英文が書けるようになる。

- ・シソーラス (Thesaurus)

単に概念別に類語がリストアップされているだけの辞書。表現にバリエーションをつけたい時の候補選びに用いる。数社から出版されているが、Roget's を名乗るものが多い。

### ■電子辞書

電子辞書は、複数の辞書を同時に検索したい時などに便利だが、最初の画面の最初の意味だけ見て閉じてしまうような使い方をしていたのでは、大学の授業にはどうもついていけない。「この場合の意味はどれだろう」と吟味したり、用例を読んでその単語の使い方やニュアンスを会得したりするためには、ページ全体を俯瞰できる紙媒体の辞書の方が優れている。目的に応じて電子辞書と紙辞書を使い分けるべきだ。

(2011年3月 野村 恵造)